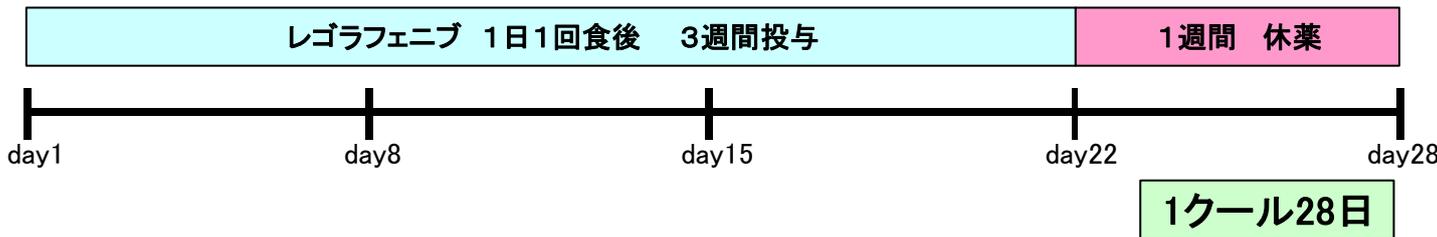


# がん化学療法個人計画書

患者の状態により輸液の内容・量及び投与速度を変更する場合があります。

科名	適応がん種	プロトコール名
	結腸・直腸癌	レゴラフェニブ
投与予定	休薬を含めて1クール 28 日 施行可能な限り	



・空腹時投与を避けること。  
高脂肪食後の投与を避けることが望ましい。

・副作用があらわれた場合は、症状、重症度等に応じて本剤を減量、休薬又は中止する。特に手足症候群・肝機能検査値異常・高血圧が現れた場合は、症状、重症度等に応じて添付文書の基準を考慮して、本剤を減量、休薬又は中止する。減量して投与を継続する場合には、40mg(1錠)ずつ減量する(1日1回80mgを下限とする)。

備考

薬品名	申請投与量	計算量	実際の投与量	薬価最小組み合わせ	備考
レゴラフェニブ	160 mg/body		mg/body		記載投与量は1日の投与量 空腹時投与を避けること

併用内服薬	用量(1日量)	用法	投与期間